

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.2.5 No.219 連絡先 FAX 042-555-1911



沖縄連帯1・25 ヒューマンチェーン 7000名で国会包囲



1月25日、「沖縄の民意を無視するな！ 辺野古に基地はつくりたくない！ 国会包囲ヒューマンチェーン」（同実行委員会主催）が行われました。辺野古の海をイメージした青い上着やマフラー、帽子などを身につけた人々がぞくぞくと国会周辺に集まりました。主催者発表で参加者は7000人、ヒューマンチェーンは大成功でした。

総選挙で「オール沖縄」で勝利した4人の衆議院議員などが参加、力強くあいさつ、拍手につつまれました。

いま、沖縄の辺野古の海では、防衛省がサンゴ礁を破壊するトンブロックを次々投入、海上保安庁の暴力的な威圧、妨害で負傷者も。しかし、抗議・阻止行動は連日続けられています。



(写真：国会包囲スナップ)

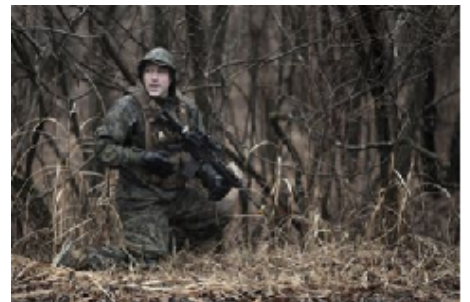
辺野古新基地建設工事中の中止を求めるファックスを送ろう

防衛省（中谷元防衛大臣） FAX 03-5269-3270

沖縄防衛局（井上一徳局長） FAX 098-921-8168

1月22日 横田空軍兵士がキャンプ富士でサバイバル訓練

横田空軍兵士が、1月22日、キャンプ富士でサバイバル訓練を行ったそうです。「凍てつく雨がびしょ濡れの空軍服に突き刺さる、ブーツの中は水浸し、手はかじかみ、腹ぺこ…。しかし彼らは居心地の悪い環境には集中しない。彼らは唯一、生き残ることに集中している。“敵陣地内に航空機が墜落した”との想定での訓練。陸軍、海軍、海兵隊の兵士も参加し、敵味方に分かれての過酷な訓練を行った」とのことです。（米軍横田基地ホームページより、写真も）



米空軍（横田兵士80名、C-130H 3機）とバングラデシュ空軍の合同演習

1月24日から30日まで、バングラデシュ・バンガバンドウの空軍基地で米空軍とバングラデシュ空軍の2国合同戦術空輸演習“COPE SOUTH 15”が太平洋空軍の主催で行われました。

米空軍は約80名の空軍兵士と3機のC-130H ハーキュリーズが米軍横田基地・第374空輸航空団・第36空輸中隊から参加しました。バングラデシュ空軍は約200名の兵士と1機のC-130航空機が参加しました。（米軍横田基地ホームページより、パラシュート降下訓練の写真も。）



横田C-130Hが2017年にC-130Jスーパーハーキュリーズに移行 (No. 219 の裏面)



星条旗新聞 2015年1月20日付によると、現在横田基地所属のC-130Hハーキュリーズは、2017年に最新型のC-130Jスーパーハーキュリーズ(写真)に移行する予定だそうです。

「C-130Jを外から見ると、これまでより機体が少し長く、プロペラが4枚の代わりに6枚あるのに気がつくであろう。パワーは強力であり荷物もたくさん積める。馬力と荷物のスペースが多いと、2台のC-130JでC-130H 3台の仕事ができるということである。乗組員も大幅に節約できる。C-130Jは前のものよりコストが操作で30%以下になる」などと書かれています。

スペインで戦闘機が離陸に失敗し墜落 10人死亡 NATO訓練中

2015年1月27日、共同通信は、「スペイン南東部アルバセテの空軍基地で26日午後3時(日本時間同11時)ごろ、北大西洋条約機構(NATO)の訓練に参加していたギリシャ軍のF-16戦闘機が離陸に失敗し墜落、10人が死亡、約20人が負傷した。フランス公共ラジオなどが伝えた。

スペイン国防省の発表では「(戦闘機は)離陸後、出力を失って駐機エリアに向かって墜落、止まっていた他の機体に衝突した」としている。同国のテレビ局は基地内で炎と黒煙が激しく上がる様子を伝えた。同基地ではNATO軍の共同作戦能力の向上、強化を目指すための訓練が実施されていた。」と伝えています。大変な犠牲者です。出力を失なう戦闘機、怖いです。

また、F-16戦闘機は、2014年12月1日、ヨルダンで墜落、パイロットが死亡しています。

日本では、2014年11月13日、石川県の自衛隊小松基地に日米共同訓練に参加していた米軍三沢基地所属のF-16戦闘機が「油圧系統に不具合が発生した」として緊急着陸しています。

米カリフォルニア州の海兵隊訓練場内で ヘリ墜落 2人死亡

2015年1月26日、琉球新報は、「米海兵隊は23日、同日夕にカリフォルニア州南部トゥエンティナインパームス市の海兵隊訓練場内でヘリコプターが墜落し、乗員2人が死亡したと発表した。海兵隊の24日の追加発表によると、事故機と隊員は同州内のキャンプ・ペンドルトンの所属。事故原因は調査中としている。海兵隊によると、事故現場は砂漠地帯にある地対空作戦訓練場。通常訓練中に発生した。」と伝えています。住宅地が訓練場の横田、墜落したら！！

米軍嘉手納基地HH60救難ヘリ 23日飛行中に部品落下 26日伝える

嘉手納基地所属のHH60救難ヘリコプターが23日、飛行中に重さ約68グラムの部品を落下させていたことが分かりました。発生から3日後の26日午前、嘉手納基地が沖縄防衛局に伝えました。米軍機からの部品落下は、15日に起きた米海兵隊AH1ヘリからのミサイル関連部品(計約200キロ)の投棄に次いでことし2回目。相次ぐ部品落下に、地元自治体からは米軍の安全管理や通報の遅れに疑問の声が上がっています。嘉手納基地は落下時刻や場所を明らかにしておらず、「ヘリは主に海上を飛行していた」と説明。落ちた部品は、乗員室内に装着されている通信ケーブルの先端を覆うカバーで、縦約6センチ、横約5センチ、厚さ約2センチのプラスチック製。ヘリが帰還した後に、地上の整備要員が部品の紛失に気付きました。カバーはケーブルの先端に固く取り付けられており、取り外し可能な部品ではないといえます。

「イスラム国」の残虐非道な蛮行を糾弾します。憲法9条で戦争のない世界を！